

事務連絡
平成27年6月24日

各都道府県建設業協会事務局長 殿

一般社団法人 全国建設業協会
専務理事 伊藤 淳
〔押印省略〕

「平成27年度 建築改修技術講習会」の受講案内等について

このたび、一般財団法人建築保全センターより、本年10月に全国4都市で
標記講習会を開催する旨案内がありました。

講習会は、首都大学東京の深尾名誉教授による「リノベーション・コンバー
ジョンと建築改修工事技術」と題する基調講演と、改修工事技術について技術
の要点と改定点について、総合的に解説が行われる内容となっております。

つきましては、貴会会員に周知・ご案内方よろしくお願いいたします。

以上



「平成27年度 建築改修技術講習会」

「リノベーション・コンバージョンと建築改修工事技術」 開催のご案内

主催 一般財団法人 建築保全センター
 後援 国土交通省
 一般社団法人 公共建築協会
 一般財団法人 建築コスト管理システム研究所

協賛協力団体

一般社団法人全国建設業協会	公益社団法人日本建築積算協会
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会	一般社団法人日本ビルヂング協会連合会
一般社団法人日本左官業組合連合会	一般社団法人全国タイル業協会
一般社団法人日本塗装工業会	一般社団法人日本建築板金協会
公益社団法人ロングライフビル推進協会	一般社団法人全国中小建設業協会
一般社団法人日本サッシ協会	一般社団法人日本建築あと施工アンカー協会
一般社団法人カーテンウォール・防火開口部協会	全国ビルリフォーム工事業協同組合
公益社団法人日本建築士会連合会	建築改装協会
一般社団法人日本建築士事務所協会連合会	日本外壁仕上業協同組合連合会
一般社団法人日本建設業連合会	日本樹脂施工協同組合
一般社団法人全国防水工事業協会	低圧樹脂注入工法協議会
一般社団法人日本タイル煉瓦工事工業会	日本建築仕上材工業会

講習会プログラム

時 間	項 目
9:00 ~ 9:30	受付
9:30 ~ 9:35	開会挨拶 (一財) 建築保全センター 専務理事 寺本英治
9:35 ~ 10:20	基調講演「リノベーション・コンバージョンと建築改修工事技術」 首都大学東京名誉教授 深尾精一
10:30 ~ 12:30	1章～4章 (監理指針と標準仕様書) 一般共通、仮設、防水改修、外壁改修 (一財) 建築保全センター 参事 新宅浩明
12:30 ~ 13:30	休憩
13:30 ~ 15:30	5章～7章、9章 (監理指針と標準仕様書) 建具改修、内装改修、塗装改修、環境配慮改修 (一財) 建築保全センター 技術開発部長 相場 洋
15:30 ~ 15:45	休憩
15:45 ~ 16:30	8章 耐震改修 (監理指針と標準仕様書) (一財) 建築保全センター 専務理事 寺本英治

- 講習会教材の「公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (平成25年版)」、「建築改修工事監理指針 (平成25年版) (上巻)」及び「建築改修工事監理指針 (平成25年版) (下巻)」をお持ちの方はご持参ください。お申込み時に購入することもできます。
- この講習会は、継続能力/職能開発研修に参加しようとする建築士、建築設備士及び建築施工管理技士の「建築CPD情報提供制度」のプログラムに認定されています。また、国土交通省後援講習会として「営繕業務関係特別認定講習会」(ポイント加算対象)にも認定されています。

講習会の開催に当たって

我が国の建築物の総量は、約 80 億㎡に及ぶと言われていています。このうち約 1 割を占める公共建築の約半分が完成から 30 年を超えており、これら建築物をより長く大切に使うことが求められています。平成 25 年 11 月には政府の「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、国及び地方公共団体は所有する公共施設について、適切な点検・診断、修繕・更新等により、長寿命化の行動計画を策定することが求められています。また建築物の長寿命化においては、改修と共に建物の利用用途の変更を行うコンバージョンも重要な技術です。

本講習会では、政府の多くの委員会、次世代公共建築研究会リノベーション・コンバージョン部会長などでご活躍されている深尾精一首都大学東京名誉教授に「リノベーション・コンバージョンと建築改修工事技術」基調講演をしていただきます。

また「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（平成 25 年版）及び「建築改修工事監理指針」（平成 25 年版）をテキストとして、改修工事技術について、技術の要点と改定点を総合的に解説いたします。人口減少が見込まれるこれからの時代では、建築も都市も「新しくつくること」から「賢く使うこと」への転換が求められており、多数の方がこの講習会に参加されますようご案内いたします。

一般財団法人建築保全センター
理事長 尾島 俊雄

講習日程・会場

開催地	開催日時	会場名・所在地	募集人員	申込受付期間
東京	平成27年10月2日(金) 9:30~16:30	ニッショーホール 東京都港区虎ノ門2-9-16 TEL 03-3503-1488	120	平成27年6月15日(月) ~9月18日(金)
大阪	平成27年10月6日(火) 9:30~16:30	エル・おおさか 大阪市中央区北浜東3-14 TEL 06-6942-0001	80	平成27年6月15日(月) ~9月24日(木)
福岡	平成27年10月9日(金) 9:30~16:30	福岡建設会館 福岡市博多区博多駅東3-14-18 TEL 092-631-4600	60	平成27年6月15日(月) ~9月25日(金)
札幌	平成27年10月16日(金) 9:30~16:30	北海道開発協会 札幌市北区北11条西2丁目 TEL 011-709-5211	60	平成27年6月15日(月) ~10月 2日(金)

- 受講料 会員 8,000 円（レジメ・資料、消費税等を含む。）
非会員 9,000 円（レジメ・資料、消費税等を含む。）
納付された受講料は、特別な理由（事故、入院等）以外は原則として返金いたしません。
※会員とは、以下の公共機関、団体の会員をいいます。

- ・（一財）建築保全センター賛助会員
- ・国・地方公共団体、公団・公社公的機関の職員
- ・後援、協賛団体の会員

- テキスト
- ①「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成 25 年版）」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
受講者特別価格 4,600 円（税込み）
 - ②「建築改修工事監理指針（平成 25 年版）（上巻）」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
受講者特別価格 7,200 円（税込み）
 - ③「建築改修工事監理指針（平成 25 年版）（下巻）」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
受講者特別価格 6,600 円（税込み）

■申込方法（※申込後、受講票を送信いたします）

⇒当財団のホームページ（<http://www.bmmc.or.jp/>）から申し込む場合

トップページの「業務のご案内」⇒「講演会・講習会」⇒「受講申込書（ボタン）」の順にクリックすると、参加申込フォームが表示されます。必要事項を入力頂き「送信（ボタン）」をクリックしてください。

⇒FAX で申し込む場合

「開催のご案内」の申込書を切り取り必要事項を記入し、FAX（03-3553-6767）で送信してください。

※お申込みを受け付けましたら

①ホームページ申込の場合、受付票を送信します。また、ご入金確認後、「受講票」を送信します。

②FAX 申込の場合、ご入金確認後 FAX にて「受講票」を送付します。

■申込締切 各会場共に定員になり次第、又は講習日程表の申込受付期間で締め切ります。

■申込先 一般財団法人建築保全センター

お問合せ 〒104-0033 東京都中央区新川 1-24-8 TEL 03-3553-0070 FAX 03-3553-6767

E-mail : kousyukai@bmmc.or.jp

担当：影山、押切

平成27年度 建築改修技術講習会申込書

官公庁名 会社名		所属部課名	連絡担当者
E-mail アドレス			
所在地 〒		開催日	／
TEL () -	FAX () -	会場 ○で囲む	・東京 ・大阪 ・福岡 ・札幌
受講者氏名	所属部課名	会員 (後援、協賛団体名)	名 × 8,000 円 = 円
		非会員	名 × 9,000 円 = 円
		合計	円
		①公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (平成 25 年版)	冊 × 4,600 円 = 円
		②建築改修工事監理指針 (平成 25 年版) (上巻)	冊 × 7,200 円 = 円
		③建築改修工事監理指針 (平成 25 年版) (下巻)	冊 × 6,600 円 = 円
		合計	円
		総合計	円
請求書		1. 必要	2. 不要 (○で囲む)

【申込について】

- ・支払は、原則として前納をお願いします。下の「払込取扱票」を切り取ってご使用下さい。
 - ・請求書を必要な方は申し出て下さい。申込書受領後請求書をお送りします。
 - ・入金確認後、受講票を送付します。お手元に届くまで1週間程度要する場合がありますので、ご了承下さい。
 - ・テキストのみの購入はホームページ (<http://www.bmmc.or.jp>) か、FAX (03-3553-6767) でお申込み下さい。
- <問合せ先> (電話) 03-3553-0070 (E-mail) kousyukai@bmmc.or.jp (担当) 申込状況等 影山、押切

切り取ってご使用ください

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	東京	口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。	
口座記号		口座番号 (右詰で記入)	
※	00150	※	72152
金額		金額	
千 百 十 万 千 百 十 円		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名 ※ 一般財団法人 建築保全センター		加入者名 ※ 一般財団法人 建築保全センター	
通信欄 〒 -		金額	
ご依頼人 おなまえ		千 百 十 万 千 百 十 円	
(ご連絡先電話番号 - -)		おなまえ	
裏面の注意事項をお読み下さい。(ゆうちょ銀行) これより下部には何も記入しないでください。		ご依頼人	
		(消費税込み) 日 附 印	
		料金	
		円	
		備考	
		備考	

事務局記入欄(記入しないください)
 受講料 8,000円× 人
 9,000円× 人
 テキスト代 ①4,600円× 冊
 ②7,200円× 冊
 ③6,600円× 冊

この受領証は、大切に保管してください。

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、口座記号番号及び金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。

・この払込書をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証等を必ずお受け取りください。

・この用紙による払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。